

◎カメラを上手に活用しよう

コンパクトデジタルカメラの普及に伴い、山行の記録は非常に簡単に、便利に、費用が安く、保存できるようになった。更にカラープリンターを使えば手軽に、いつでも、写真を再現できるようになった。勿論、コンデジ以外のカメラの良さを否定するわけでは無い。しかし最近、スマートフォン内臓カメラの性能向上に伴い、コンデジも過渡期を迎えている。

*コンデジ=コンパクトデジタルカメラ

①カメラの種類

世の中にはいろんなカメラが存在する。分類の仕方は色々あるが、手のひらサイズのコンパクトカメラ、一眼レフ(ミラーレス) 中型/大型カメラに分けられる。ここではコンデジと一眼レフについて説明する。



②コンデジの選び方

いろんなタイプが各社から出ているが、形状、性能等でくると大きな違いはない。そのため、価格や外観、重さなどで選ぶ方が多いようである。そこで、性能に関して注意点を少し考えてみよう。

コンデジのいろいろ

一眼レフデジカメ

フィルム、中型カメラ

A. レンズ性能

- ・山を被写体を選ぶ場合、広角側の焦点距離は35mmフィルム換算で28mmは欲しい。最近では24mmも出ており便利。
- ・望遠の倍率であるが、5倍くらいが良い。それ以上になると拡大はするがブレ易く、シャープな画像は期待できない。
- ・レンズ口径は出来るだけ大きい方が写りが良く、レンズも出来る限り明るい物(f値)を選びたい。

B. 画素数と撮像素子

- ・各社画素数をPRしているがこれは1000万も有れば十分である。注意して欲しいのは撮像素子の大きさである。これが大きいほどきめ細かく記録できる。一般的には1/2.3が主流だが、1/1.7も出回っている。後者は1.35倍の面積でシャープに記録できる。なかには1インチサイズも発売されており、A4以上に拡大する時メリットある。

C. サイズ、重量

- ・各自好みがあるので断定できないが、ポケットサイズで出来るだけ軽い物がベターであろう。

③一眼レフの選び方

このカメラもピンキリである。数十万円もする高級品から数万円の普及機まで様々。最近ではミラーレスと言って小型軽量を武器に普及が進んでいる。レンズ交換が可能なのであらゆる場面で便利に使えるが、重く、嵩張るのが欠点である。各社大きな性能差はないが、プロはニコン、キヤノンを持つようである。いずれにしても三脚でじっくり撮るのに適し、行動中のスナップにはあまり適さない。A4サイズ以上に伸ばさない限り、差はあまり出ない。



一眼レフの本体

ミラーレスの本体

④撮影上の注意点

A. 光線を気にしよう

逆光で顔が暗くなる等の経験はしていると思う。これは補正機能があり使用すると随分改善できる。又コントラストも重要である。朝夕の陰影を利用して趣のある写真を撮ろう。プロの写真家は昼間は寝ているらしい。

B. 遠くの山を綺麗に撮る

皆さん遠くに見える綺麗な山を撮ったつもりが、あまりうまく写っていなかった経験はないだろうか。いろいろ要因はあると思いますが、今のコンデジ等はオール自動の為、露出がうまくいっていない場合が多い。そんな時カメラを画面の山の部分を多くして撮ってみるとうまくいく場合がある。自動露出の中心を撮りたい被写体の中心にしよう。

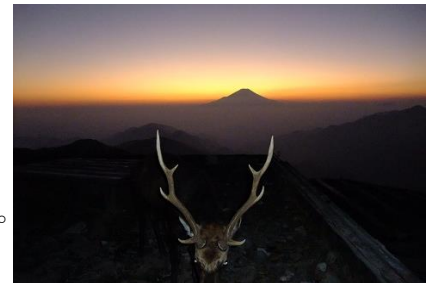
C. 画面に前景を上手に入れる

山での撮影の場合山がメインであるが、前景に花や、岩や、人などを上手に配置すると奥行きのある綺麗な写真が撮れる。当たり前であるがやってみて欲しい。

D. チャンスを逃さない

山での撮影の場合、雲や光のタイミング、又ライチョウやカモシカの出現等、一瞬の撮影タイミングを逃さない為にカメラはすぐに取り出しやすくしておこう。

写真は尊仏山荘の前で夕刻、鹿が来たので10分程待ち、日暮れと富士を撮った。



⑤画面の補正をしてみよう

A. 画面の補正

パソコン画面に写してみても、どうもあの時の感動とは違う感覚を感じた事はないだろうか？これは紫外線の影響とか、露出のずれとかが影響している。今補正のフリーソフトも沢山出回っているので挑戦して欲しい。ただ、補正により全く違った写真にも加工が可能なので、注意を要する。露出不足等は結構きれいに直せる場合が多い。

B. トリミング

画面を自分の好きな画角に切り取る事をトリミングという。これにより迫力のある情景を生み出せる。そのため少し広角寄りでもシャッターを切ると良い。単なる拡大だけでなく、構図も配慮したトリミングをしよう。

⑥その他の便利事項

- ・冬は寒いので、電池の消耗が早い。撮影中に「電池を交換してください」のアラームを経験した事はないだろうか。そんな時、カメラから電池を取り出し、素手で1分程温めてやると数枚の写真が撮れる。やってみて下さい。
- ・たまに写真を撮ろうとしたら「カードが有りません」を経験した事はないだろうか。パソコンに置き忘れ！そんな時1枚のSDカードを常に携帯していると折角の風景を撮り逃す事がなくなる。